

原点から声を大にして！

— 北方領土返還要求根室市民大会 8 / 4 —

北方領土返還要求運動を強力に推進する決意を表明し、国内外の世論を高めることを目的に「北方領土返還要求市民大会」が総合文化会館で開かれ、約700人が参加しました。

晴天に恵まれる中、アピール行進が初めて決行され、300人が標にハチマキ姿で「四島を返せ！」と、大きな声で訴えながら、文化会館前から合同庁舎前の往復1.5キロを行進しました。

第二部の式典では、大会長の長谷川市長が、「元島民の約6割が他界され、平均年齢も80歳を迎えている。この現実を踏まえ、元島民が一人で



登壇にたち領土返還を訴えた久松敬一さん



「四島を返せ」と声を上げる市民ら300人

も多くいるうちに結果を残さなければならぬ」と述べ、「政府に対してもこの機会を逃すことなく交渉に望んでほしい」と要望しました。また、元国後島民の久松敬一さんは、「一日も早い返還を願う」と当時を振り返りながら訴えました。式典の最後に、北方領土の早期返還を求める大会決議が採択され、閉会しました。大会では、4月末に行われた日ロ首脳会談で領土問題の交渉を再スタートさせることで合意したことを受けて、これからの進展に期待が寄せられています。

根室から自慢ののどを全国へ

— NHKのど自慢 7 / 28 —

総合文化会館の開館20周年を記念して「NHKのど自慢」が行われました。7年ぶりの根室開催ということもあり、予選会には、市内外から約200組が参加し、ステージ中を駆け回る人など、さまざまな形でアピールしていました。全国に生放送される予選会を勝ち抜いた20組は、応募者8946人の中から選ばれた893人の観客の前で、堂々たる歌いっぷりを見せました。

今週のチャンピオンに選ばれたのは、幼稚園教諭の多嶋身江子さん。ゲスト賞には、根室高校二年の圓山柊斗くん（まるやま しょうと）と小島拓くんのペアが受賞し、20組の参加者は自慢ののどを全国に届けました。



めざせ未来の白衣の天使

— 一日看護体験(高校生) 8 / 2 —

ナースを夢見る高校生18人が、市立根室病院で一日看護体験を行いました。

今回人数が多いため、患者さんと触れ合うことはできませんでしたが、憧れのナース服を身にまとい、先輩ナースから医療器具等の扱い方などの指導を受けていました。

根室高校3年の菅原風紗さんは「看護師の仕事は大変、でも患者さんの気持ちを大切にできる看護師になりたい」と満面の笑みで話してくれました。

高校生たちの、楽しみに体験しながらも、時折みせる真剣なまなざしから、ナースの夢への一歩を踏み出したような気がしました。



頑張る小中学生！

— 夏休み学習サポート 8 / 13 & 15 —

総合文化会館にて、市内児童生徒の学力向上対策の一環として「夏休み学習サポート」が行われ、36人の小中学生が参加しました。

この事業は、平成23年度から市教委が北海道教育大学に学生講師の派遣を依頼し行っており、今年は、教師を目指す釧大の学生や、学力向上補助員、退職教員など15人が講師を務めました。

学習方法としては、自学自習しながら、わからないところは講師に聞くという形を基本としており、子どもたちは真剣に問題に取り組みながらお兄さん、お姉さんたちの丁寧な指導をしっかりと聞き、宿題を進めていました。

